

特集

二十歳を祝う会

1月11日（日）にカノラホールにて二十歳を祝う会が開催されました。

式典のようすと、二十歳の若者の声をお伝えします。



天候が心配されるなか、式典開始前は一時的に雪もやみ、久しぶりに会う同級生とにぎやかに交流する姿が見られました。



今年の式典には、令和7年度に二十歳を迎える498人のうち、345人のみなさんが出席しました。二十歳のみなさんの代表として、松川莉一さんと田村渉さんによる司会で式典は進行し、岡谷市民憲章唱和の後、二十歳の代表として江島葵さんと杉田歩夢さんが「誓いのことば」を述べ、二十歳の決意を語りました。後藤茂之衆議院議員、吉田浩市議会議長から祝辞をいただき、「中学校の恩師からのビデオメッセージ」や「想い出アルバム二十年間のできごと」、また、岡谷市出身の岡谷市観光大使 市川笑野さん、市川右田六さん、総合格闘家の伊藤空也さん、連携協定を結んでいるVC長野・トライデンツの選手たちからのお祝いと激励の映像が披露され、会場に笑顔があふれるなごやかな式典となりました。

この二十歳を祝う会は、皆さんが一人の大人として自立し、社会の仲間入りを自覚するための大きな節目となるものであります。これまで、深い愛情で支えてくださったご家族や友人、温かく見守ってくださった地域の方々など、関わった多くの皆様に対し感謝の気持ちを忘れずに、社会の中で大きく羽ばたいていてほしいと思っております。

現在、皆さんはそれぞれの夢に向かって邁進されていらっしゃることと思います。変化の激しい社会経済情勢のなか困難や壁にぶつかることもあると思いますが、若い力と勇気をもって、臆することなく何事にも果敢に挑戦し、自分の夢に向かって大きく踏み出してください。結びに、これから的人生におけるご活躍とご多幸を心から祈念申し上げまして、式辞といたします。

お祝いのことば





集
う



誓いのことば

二十歳代表 江島葵さん

私たちは本日、二十歳という人生の大きな節目を迎えるました。この節目は、単に年齢を重ねることではなく、大人として自らの生き方と向き合い、社会と真摯に関わっていく第一歩でもあると受け止めています。これまでの歩みを振り返ると、家族の温かい支えや先生方のご指導、地域の皆様の見守りの中で、多くの経験を積み重ねてきたことを実感します。日々の暮らしの中で当たり前だと思っていたこと一つ一つが、多くの方々の支えによって成り立つていたのだと、今改めて深い感謝の気持ちを抱いています。

二十歳となつた私たちは、社会の一員としての自覚と責任を求められる立場になります。これからは、自分の言動や選択に責任を持ち、周囲の立場や思いに目を向けながら行動していくなければなりません。失敗を恐れるのではなく、その経験を学びへつなげ、自らを省みながら成長していく姿勢を大切にしていきたいと思います。また、大学に入学し、

一人で生活することの苦労や、自分で人生を選択していくことの困難を実感すると同時に、頼れる人や家族の存在が自分にとってどれほど大きなものであったか、そのありがたみを改めて感じています。将来の形はまだ定まっていませんが、自分で考え、選び、努力し続ける姿勢を大切にしながら、後悔のない人生を歩んでいきたいと考えています。そして、私たちを育ててくれた地域や社会への感謝を胸に、これからは支えられる側から、支える側へと、少しずつでも歩みを進めていきます。人とのつながりを大切にし、互いに認め合い、助け合いながら、誰かの力になれる存在となるよう、誠実に行動していくことをここに誓います。

結びに、本日まで私たちを導き、見守つてくださったすべての方々に、改めて心より感謝申し上げます。二十歳の節目を新たなる出発点とし、大人としての自覚を胸に刻み、より良い社会の一員として歩んでいくことを誓い、二十歳の誓いの言葉いたします。

※全文より抜粋



岡谷市民憲章とは、岡谷市民が郷土を愛し、自らのまちを住みよい豊かなまちとするために、市民の手によって作られた「まちづくりの基本理念」であり、まちづくりの根幹となってきたものです。

式典では、4人の代表者がステージに立ち、客席の仲間とともに唱和を行いました。市民憲章が、これから的人生を照らす道標になることを願います。

市民憲章

誓う



代表の4人。左から、宮澤愛さん、アディさん、金森由紗さん、カンティさん

二十歳代表 杉田 歩夢さん

本日、二十歳という人生の大きな節目を迎えましたが、私たちは決して一人でここまで歩んできたわけではありません。家族や学校の先生方、地域の皆様など、多くの方々の存在に見守られながら、今日の日を迎えることができたのだと、改めて実感しております。特に、私たちが中学生3年生であった2020年、新型コロナウイルスの感染拡大により、文化祭や修学旅行、日々の学校生活など、当たり前であったはずの日常が失われました。高校生活も、思い描いていたものとは大きく異なるものとなりました。そのような困難な時期を乗り越え、今、こうして何気ない日常を取り戻すことができているのは、家族や学校の先生方をはじめとする多くの方々のご理解とご協力があつたからこそだと思っております。経済学部に教職課程が設置されていることや、ゼミ活動に

打ち込みたいという思い、そして中学時代から続けてきた吹奏楽を大学でも続けたいという強い気持ちか、進学を決意いたしました。将来についてはまだ模索している段階ではありますが、多くの選択肢を持っているよう、日々努力を重ねております。そのような環境で学ぶことができているのも、両親の存在の大きさを日々実感しているからこそです。

これからは、これまで関わってきたすべての方々への感謝を忘れないことなく、二十歳としての自覚と責任を持ち、行動してまいりたいと考えております。

ここに集う皆さんも、大学や専門学校で学んでいる方、社会人として歩み始めた方など、それぞれ異なる道を進んでいることだと思いますが、これまでの歩みを支えてきた環境への感謝を胸に、社会に貢献できる大人へと成長していきましょう。

結びに、このような素晴らしい式典を準備してくださった関係者の皆様、そしてご多忙の中ご臨席を賜りましたご来賓の皆様に、二十歳を迎えた私たちを代表して、謹んで御礼申し上げます。以上をもちまして、誓いの言葉とさせていただきます。

※全文より抜粋



岡谷市民憲章

緑と湖につつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

昭和46年7月1日制定

仕事に誇りをもち、豊かな産業のまちをつくります。



未来へ
羽ばたく

二十歳のキモチ！

会場を盛り上げてくれた司会の二人への「インタビュー」

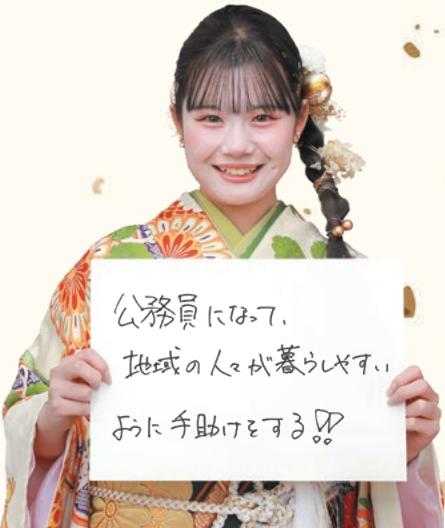
市民憲章唱和の代表を務めたみなさんと

会場で出会った人たちからの「ひとこと」

「将来の夢は何ですか？」



宮澤 愛さん
市民憲章唱和代表



金森 由紗さん
市民憲章唱和代表



花岡 佳祐さん

司会 田村 澄さん

キモチ

Q4

キモチ

Q3

キモチ

Q2

キモチ

Q1

将来の夢は何ですか？

二十歳になつてやつてみたいことは？

保育の現場でさまざまな経験を積み、得意な楽器や歌を生かした自分らしい保育を通して、子ども一人ひとりの得意なことが広がるきっかけを作つてあげられるような保育士になつてみたいと思います。

小学校から高校まで音楽に打ち込み、数々の演奏会で立ったカノラホールは、仲間との楽しい思い出や努力の日々が詰まった大切な場所です。そんな思い出の場所で「二十歳を祝う会」を迎えること

を、とてもうれしく思います。

岡谷での思い出を教えてください。





カンティさん

市民憲章唱和代表



アデイさん

市民憲章唱和代表



宮澤 心寧さん



小口 倭さん



滝澤 萌菜美さん



平出 凜さん



司会 松川莉一さん

小学6年生のとき、クラスで、「岡谷のうなぎ」について調べ、PR活動を行ったことです。実際にうなぎ店にも行き、「こんなに焼くんだ…」としみじみ感じながら、間近で見させていただきました。

岡谷での思い出を教えてください。

キモチ

Q4

キモチ

Q3

キモチ

Q2

キモチ

Q1

将来の夢は何ですか？

教師です。父、従兄弟、家族や親戚で、教育現場で働いている人が多く、その姿を見て、「教える」についていいなと思い、この道を選びました。

二十歳になつてやつてみたいことは？